

## 第4回公立大学設立準備委員会 委員からの意見（要旨）

### 【中期目標(草案)について】

- ・ 設立団体としての意思をはっきりと明確に示すために、もう少し中期目標の項目立て、言葉遣い、順番、カテゴライズの仕方について、国立大学法人と違うものがあつた方が良いのではないかと思う。例えば、「諏訪地域」という言葉を記載するなど、もう少し諏訪広域圏が作る新しい地元志向の大学としてふさわしい内容となるよう検討が必要だと思う。
- ・ 新公立大学法人の中期目標(草案)の基本目標は、まずは教育に関することをしっかりやる、次に産学連携や地域連携を行う、最後に基盤をしっかり固める、ということで記載されているが、そのこととその後の中期目標の項目立てが連動していないと思う。基本目標をこのように3本立てで記載しているのであれば、中期目標の分け方もこの3本立てに即してカテゴライズすることが必要であると思う。法人の設立団体が作成する中期目標ということになるので、そこである程度の方向性を与えていかなければならないと思う。
- ・ 来年新しい大学として開学し、その後は数ある公立大学の中で生き残りをかけて、あるいは私学にも打ち勝っていかなければならないという中で、特色を出していくということが非常に重要であると思う。例えば保護者から見たときに、この大学は就職率が良い、この〇〇学科が特色だ、ここへ行くとともに国際交流が盛んだというように、外から見た特色というのはあるので、何らかのことを表現していくことが必要だと思う。
- ・ 国立大学では「質の向上」ということについてかなり厳格に考えていて、大学評価・学位授与機構の方で6年毎に上位20%の教員の論文を全て取り寄せ、実際に研究水準がどれだけ上がったかということを確認する、というような意味合いでこの言葉を使っている。そういったことと並べて考えると、今回の中期目標中の「教育研究の質の向上」という書き方が、評価委員会の構成とも関係してくるが、そこまでのことは想定されていないと思う。
- ・ 今、国内の大学において、研究倫理の問題が議論されている。研究倫理には2つあり、ひとつは研究費等の不正に関すること、もうひとつは論文の不正に関することであるが、そのあたりについても中期目標で触れておき、しっかりやっていくということ記載した方が良いと思う。

### 《事務局の回答》

- ・ 諏訪東京理科大学としての特徴を出していかなければならないと思うので、そういったことも併せて、中期目標にもう少し書き込んでいく必要はあると思っている。そして、中期計画ではより詳細な部分や特色の部分を表していくということになる。
- ・ 諏訪東京理科大学に対する地域の期待がこの中期目標に込められていなければならないと思う。もっと特色が出るような中期目標になるよう、ワーキンググループ等をとおしてこれを練っていきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。